

## 遺族会活動再開についてのアンケート結果

調査日：2020年5月下旬

調査対象：関西遺族会ネットワーク加盟団体（42団体）

回答率：69%（42団体中29団体）

Q1.

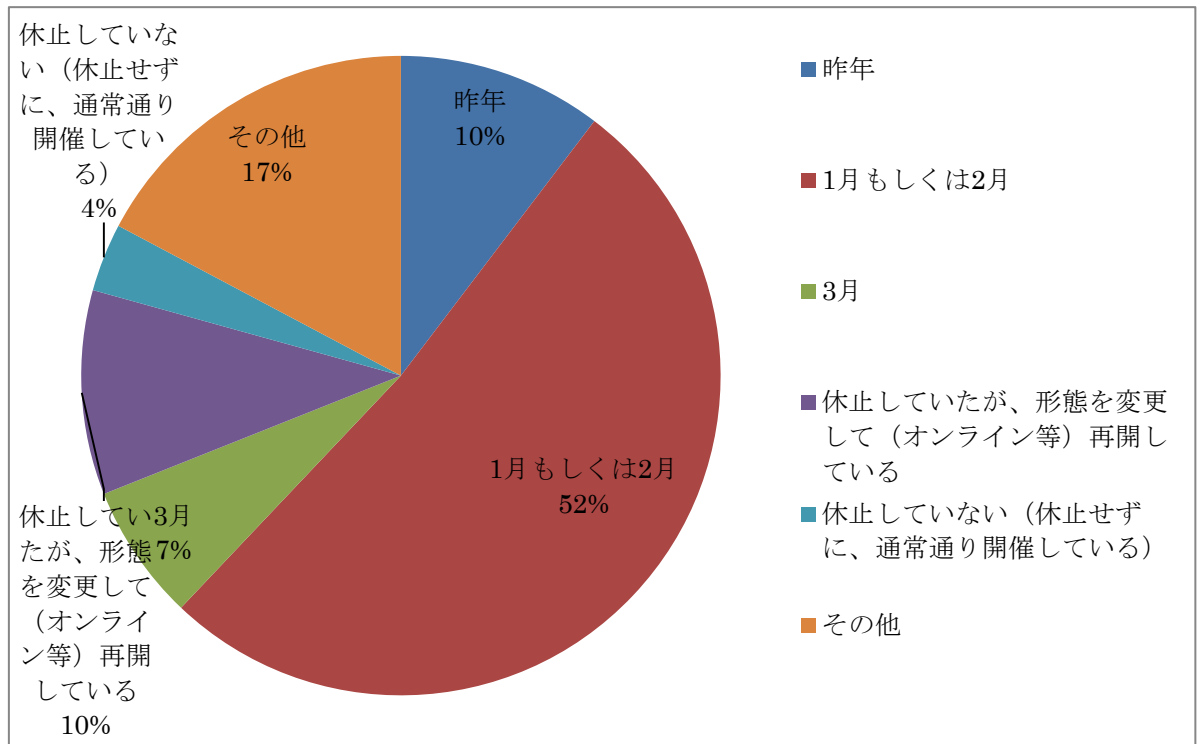
5月の時点で、遺族会を休止していますか。休止している場合、最後に開催したのはいつですか。（選択回答）

- ・ 昨年：3団体
- ・ 1月もしくは2月：15団体
- ・ 3月：2団体
- ・ 4月：なし
- ・ 休止していない（休止せずに、通常通り開催している）：1団体
- ・ 休止していたが、従前どおりの形式で再開している：なし
- ・ 休止していたが、形態を変更して（オンライン等）再開している：3団体
- ・ その他：5団体

遺族会は4月から休止していますが、個別に電話対応しています（3団体）

5月は会場が閉鎖で中止し6月は解除されたので開催します

遺族会の開催案内を出しているが、実質開催していない

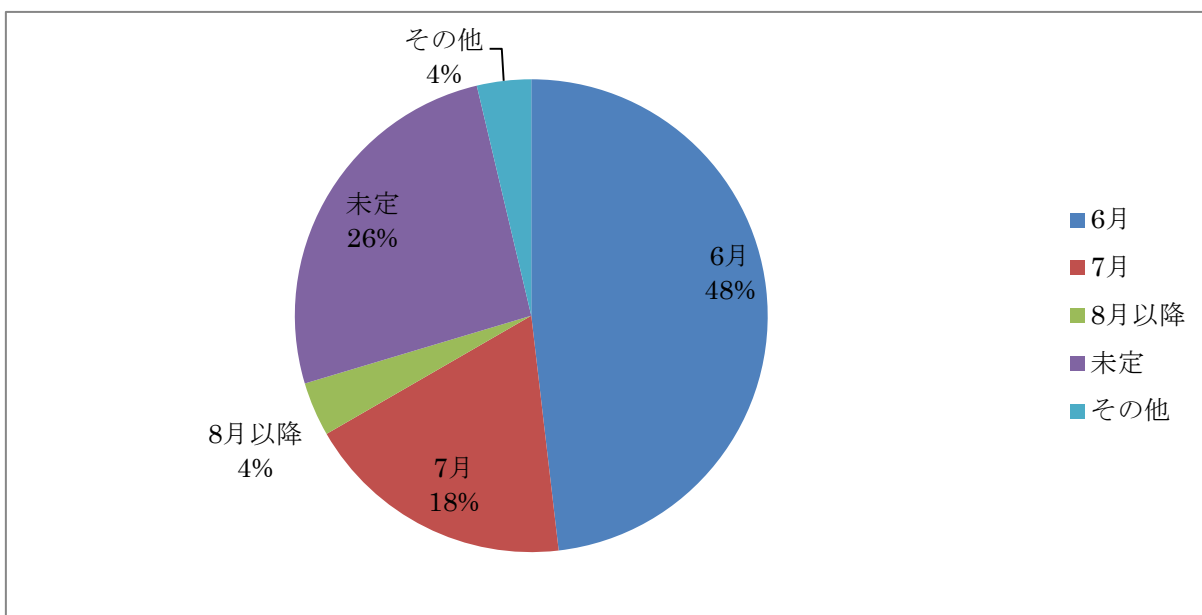


Q2

(遺族会を休止している場合のみ回答ください) いつからの再開を予定していますか。

(選択回答)

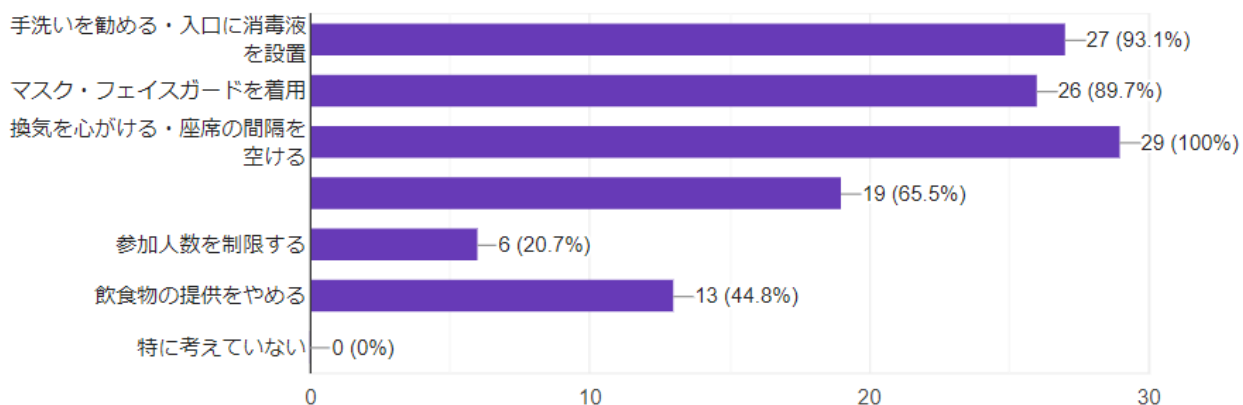
- ・ 6月：13 団体
- ・ 7月：5 団体
- ・ 8月以降：1 団体
- ・ 未定：7 団体
- ・ その他：2021 年 1 月



### Q3

再開に当たり、感染防止のための対策を取りますか。当てはまるものを全てお答えください。(選択回答・複数回答可)

- ・手洗いを勧める・入口に消毒液を設置：27 団体
- ・マスク・フェイスガードを着用：26 団体
- ・換気を心がける・座席の間隔を空ける：29 団体
- ・感染者が出た場合に備えて、参加者の連絡先を確認する：19 団体
- ・参加人数を制限する：6 団体
- ・飲食物の提供をやめる：13 団体
- ・特に考えていない：なし



#### Q4

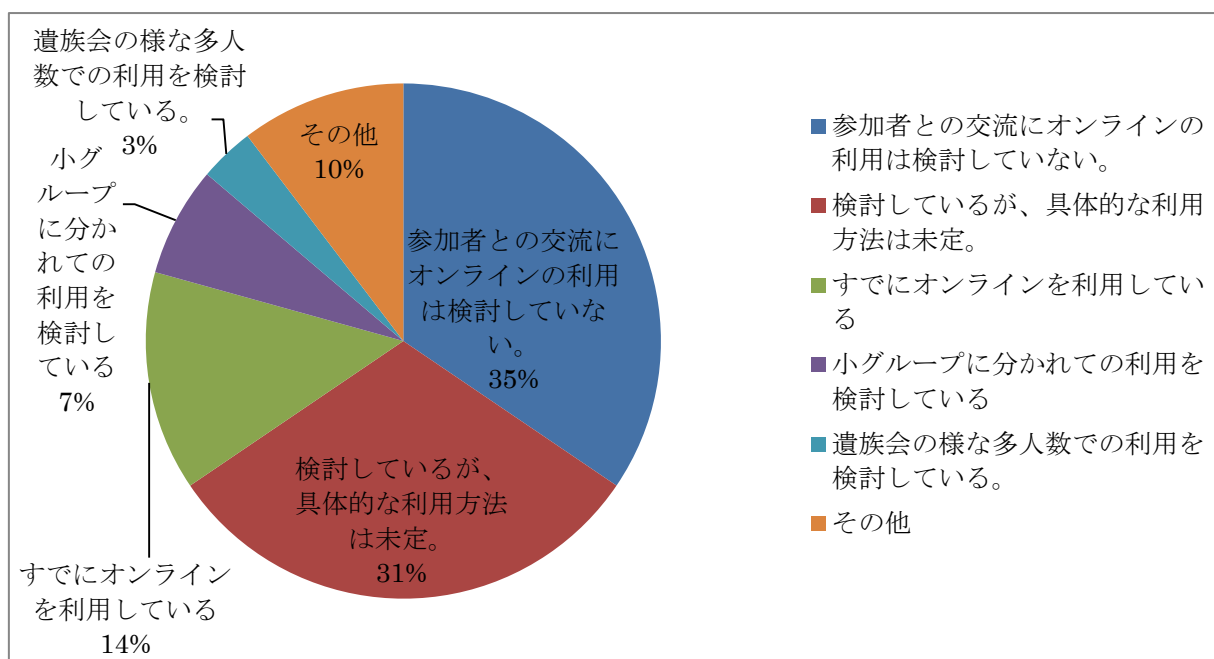
今後、スタッフ間の会議等ではなく、参加者（遺族）との交流に zoom 等のオンラインの利用を検討していますか。（選択回答）

- ・遺族会の様な多人数での利用を検討している：1 団体
- ・小グループに分かれての利用を検討している：2 団体
- ・一対一での対応時の利用を検討している：なし
- ・検討しているが、具体的な利用方法は未定：9 団体
- ・すでにオンラインを利用している：4 団体
- ・参加者との交流にオンラインの利用は検討していない：10 団体
- ・その他：3 団体

元々個別面談で開催しているので検討事項は有りません

休止が長期間になる場合は、通常とは違う内容ではあるがオンラインを活用する予定

検討はするが、利用するかどうかは未定



## Q5

その他、今後の活動について、検討していることがありましたら教えてください。

(自由記述)

- ・使用施設の許可が下りれば会を開きたいと考えております。
- ・高齢者が多いので、オンラインなどの対応は難しいので、電話やメールでの安否確認や話す機会を設けております。
- ・手薄にはなるが、スタッフの人員も常時よりは少なくすることを検討中。
- ・当団体は子どもを対象としている会のため、オンライン上でのプログラムは基本難しいと判断しています。ただ、子どもだからこそ気にかけていることが伝わるように休止が2回以上続く場合には、オンラインやお手紙などを利用して、繋がりを保てる工夫を模索しているところです。
- ・追悼法要についても、状況を見ながら対策を立てる。最悪の場合は、オンラインで動画配信
- ・会場は公共施設なので、緊急事態宣言が出れば閉館になり、解除されれば開館されます。今後も会場の開館・閉館に合わせて開催の可否を決めていきたいと思っております。また、開催の際には施設の感染予防対策に従うことが条件になります。感染予防対策に留意しつつ、可能な限り分かち合いの場は開きたいと考えています。
- ・飲食物については感染予防の点からペットボトルの個人提供と個包装の菓子を考えている
- ・3密を避ける対応を更に検討していきたい
- ・会員限定（パスワード付）のインターネット掲示板の開設
- ・会と、オンラインと、両方で進められたらと考えている。
- ・遺族会ネットワークの集まりはZoomになれば助かります
- ・先日、世話人会のみ zoom で行い、6月からは例会会場に行ける方以外は、zoom 参加する考えです。例会前の時間に行っている世話人会も同様です。例会会場は、パーティションも準備してくださっています。春の総会や夏恒例の宿泊を伴う活動などは中止になりました。秋以降の活動は、予定を協議し進めていますが、その時々で情勢で変更しようと思っております。

<レポート>

## オンラインで「わかちあい」をしてみても

報告「小さいのち」坂下 裕子

当会は、「つどい」を2回続けて中止することを何とか回避すべく、Zoomを使ってオンラインで実施してみました。

オンラインの利点は、画面越しであっても「会える」こと。いま言葉にしたいことをいま言葉にできること。いま聞きたいことがいま聞けること。距離的にこれまで参加できなかった方が参加できたことだと思います。

最初と最後は全員集合し、途中から4つのグループに分かれることも、上手くできました。

オンラインの難点も、やってみてわかったことですが、こちらのほうが多いかもしれません。

つぶやくような声が聞きとりにくい。無言となる「間」や「沈黙」で、不具合かと勘違いしてしまう。つい、はきはきと話してくれることを求めてしまいそうになる。そのためか、初めて参加した人も含め、必ずおられる「泣く」人がいなかった。

パソコン（かスマホ）とWi-Fiがあれば誰でも参加できますが、それでも上手く入れず出遅れる人はいました。事前に、運営スタッフと動作確認をしておくとう安心です。

以上、「中止するよりはやったほうがいい」というのが参加者の意見でした。

外出できなくても合わせてくれるのがZoomで、無性に本当に会いたい！を思わせてくれるのもZoomだ、というのが私自身の感想です。